

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

| | |
|---------------------|---|
| 取組の名称 | 宇野学区放課後宿題教室 |
| 28年度募集テーマ | <input checked="" type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』 ※該当テーマに <input checked="" type="checkbox"/> してください。 |
| テーマとの関連 | ◎テーマをどのように受け止め、貴団体の取組と合致すると考えたのかをお書きください。 元校長先生の「子どもをどうにかしたい」と言う強い思いと、小学校体育館下にしかできなかったコミュニティハウス建設において、小学校の為に何かできないかという地元の気持ちと、定期に使用料収入が見込めるコミュニティ協議会の思惑とがタイミング良く合致した。コミュニティ協議会・宇野小学校・うのクラブが、各々違った役目を果たし、地域協働で、宿題教室が生まれ、育っている。地域の協働の場であり、子どもとボランティアスタッフの笑顔があふれる場所になっている。 |
| 目的・解決をはかりたい課題の状況・目標 | ◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについて記載してください。 核家族化が進み、高齢者と新世代の世帯が増加し、共働き家庭が増えている。家に帰って宿題を始めて、分からないところを聞こうとしても、保護者や祖父母も居ない家庭では、宿題が終わらず朝を迎える児童が少なくない。 学校に行けば、先生に叱られる。クラスでは居場所がない。 そんな子どもたちのために宿題教室を開催しようということになったが、子どもを区別して集めることはできないので、2年生全員を対象に募集することを小学校と一緒に決めた。 当初は宿題を仕上げる習慣を付けさせる目的で進んだが、学校の延長にならないように、「宿題をしているところを見てあげる。」という気楽な感覚で、ボランティアも子どももふれ合いを楽しんでいる。ふれ合いのある明るい住みよい学区を目指し、10年後には大人になり、20年後には親になった児童達の姿を想像し、60年後には、地域を支える活動をしてくれればと願っている。 |
| 取組の内容 | 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等 岡山市立宇野小学校児童、小学校2年生、約35人 2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等 宇野コミュニティ協議会（会長・元会長2人）、宇野小学校（校長・教頭・2年担任8人）、うのクラブ（3人）、宇野在住ボランティア（11人）、就実大学ボランティア（3人） 3 活動内容、実施方法などを具体的な活動ごとに箇条書きでお書きください。 ・ボランティアによるコミュニティハウス会議室の机椅子配置（並び替え） 14：30～ ・参加児童の受入確認。（シールを名簿に貼らせる。） ・各自、決まった席で宿題を始める。 ・3時45分に終了。（タイムタイマーによる） ・5分程度、ボランティアによるお遊びタイム。 ・「ありがとうございました。さようなら」を全員で言って、児童は帰っていく。 ・ボランティアにより、掃除・机椅子の片付。 16：00 完了 4 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。 告知していない。 |

| | |
|-------------------------|---|
| <p>協働の体制</p> | <p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など、具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会 ボランティアの募集、開催日等のお知らせ、3者の調整、収支管理 児童の管理は、コミュニティハウスの中だけ ・岡山市立宇野小学校 児童の募集、児童の報告（休みなど） 開催日には、1人は宿題教室へ来て貰う。（各種の連絡等のため） ・うのクラブ 必要書類作成・提出 ・就実大学 学生ボランティアの募集、派遣 ・県立岡山操山中学校 学生ボランティアの募集 活動の場 <p>平成26年の開催までは、3者集まって目的や進め方、役割分担、安全面について何回も協議した。ほぼ、週2回、開催日には顔を合わせるので、情報交換できる。始めてからは、会議自体は年度初めと終わりだけ。お互いの問題点を発信し、協働で解決していくという信頼関係が大事だと思う。</p> |
| <p>取組の工夫 取組の特徴</p> | <p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点を記載してください。</p> <p>町内会を通じてボランティアを募集（各会長が狙い撃ち）した。その後、ボランティア候補の家に行き、楽しみながらやりましょうと言う声を掛けた。 地域には、保育園から大学まで有り、特に就実大学、県立岡山操山中学のニーズを活かしたボランティア活動をお願いに行った。 特にボランティアは算数の教え方に戸惑っていたが、ふれ合いが大切なことを説明し、安心して参加しやすくした。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントを記載してください。</p> <p>宿題をしづらい児童だけを集めていない。分け隔て無く2年生全員に対して募集している。子どもたちは授業が終わって宿題教室に走ってやってくる。ボランティアは「お帰り」と迎える。 途中で辞める子どもはいない。保護者からの感謝の手紙（別紙）も貰った。</p> |
| <p>成果・効果</p> | <p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを記載してください。</p> <p>年度初めには余り話さなかった子どもが、終了時にはボランティアへ色々なことを話しかけてくる。宿題ができていなかった子どもが、先生へ誇らしげに宿題を持って行ったと言うことも聞いた。 毎年11月にボランティアで、宿題教室に来ていた子ども達が居る学年へ、授業参観に行く（今年は2・3・4年生）が、ずいぶん変わっていることに感動している。 保護者の方とも話をする機会も増えた。 地域のボランティアと子どもたちが顔見知りになり、道で会えば、子どもの方から挨拶をかけてくる。宿題教室をやってきて良かったと思っている。</p> |
| <p>今後の活動展開 など展望</p> | <p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望について記載してください。</p> <p>一人一人の児童にどう対応するかに重点を置き、ボランティアが各自考えながら宿題教室を続けており、成果の普及は、特に行っていない。夏休みにも時間を変えて行っており、県立操山中学校のボランティアも参加してくれ、子ども達は大喜びしている。 しばらくは、今のまま宿題教室を続けていく予定です。 問題点は、もともと高齢者（最高齢86歳）のボランティアが多い。60代、70代のボランティアを探していくつもりです。 宿題教室の取組から発展して、今年度子ども食堂をスタートしました。これからも子どもの問題を地域でしっかり考え、地域の団体と協働で支えていきたいと思います。</p> |

はじまりは...

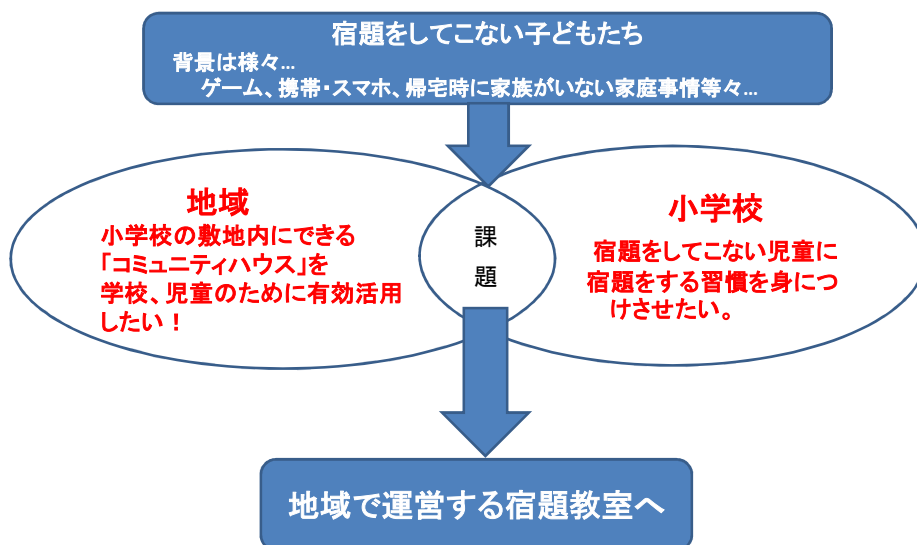
宇野コミュニティハウスを小学校の敷地内に建設することについて賛否両論で長い議論がありました。

(大阪の池田小学校の事件があった頃で、不審者問題などで意見はわれていましたが、学校を「開いていきたい」という当時の校長先生の提案があり...)

宇野小学校体育館の1階につくられたコミュニティーハウス(平成26年3月竣工)



地域と学校の話し合いの中から生まれた



実施計画を地域と学校でつめていった



●対象児童の募集をどうするか？

- ・宿題をすることを習慣にするには2年生がよいのでは。
- ・宿題をしてこない子だけを集めないこと。

●実施団体は？ ボランティアの募集は？

- ・コミュニティハウスの運営をするコミュニティ協議会が実施する。
- ・ボランティアは町内会を通じて、地域全体に呼びかける。
また、地域にある就実大学の学生ボランティアに協力をお願いする。

●実施日時・回数はどうするか？

- ・下校時の児童の安全を考慮して、高学年と一緒に下校できる時間にする。
- ・火・水・金曜日の週3回に。

スタート時点で決まったこと



- ★参加児童 : 35人
- ★実施時間 : 15時10分頃から15時50分
- ★ボランティア : 地域から15人、就実大学学生8人に。学校からも教員数名が参加。
- ★最後の5分はご褒美タイムとする。
(子どもたちが楽しく来られるようにするために手遊びやみんなでゲームをする時間)
- ★宿題の早く終わった児童は別途準備しているドリル帳で勉強する。
- ★ボランティアは子どもたちが宿題をするのを見守り、答えがわからない子どもにはヒントをあたえる。

ある日の宿題教室



14時半頃

ボランティアの人たちが集まりコミュニティハウスの会議室を教室に並び替えて準備をします。

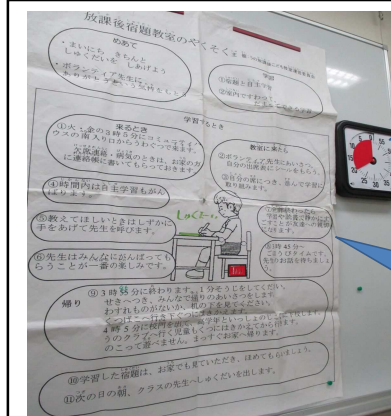
おかえり！！

15時過ぎ

なぜか子どもたちは駆け足でコミュニティハウスにやってくる入り口でボランティアの人たちが「おかえり」と出迎えます。



ただいま～！



前の白板には、残り時間を示すタイマーを付けています。

宿題教室の「おやくどく」も貼出しています。



子どもたちは、「出席簿」に好きなシートを選んでいきます。どのシートを貼ろうか、悩んでいる子どもたちも。これも子どもたちの小さな楽しみ



部屋に入った子どもたちは、自分の指定席に。宿題と筆記用具を取り出して静かに宿題をはじめます。⇒いえいえ、にぎやかに宿題をはじめます。

授業でちびってしまった鉛筆はボランティアさんが削ってくれます。

15時45分

5分間のご褒美タイムのはじまりです。今日は主任児童委員さんが手遊びとみんなでつながるゲームをしてくださいました。学生ボランティアさんのトランプマジックなども子どもたちの人気です。



ボランティアの人たちは、子どもたちの間を巡回し、宿題をするのを見守ります。答えのわからない子どもにはヒントをあたえます。



15時50分

ボランティア先生に、大きな声で「ありがとうございました！」とあいさつをして、来たときと同じように、すばやく部屋を飛び出していく子どもたち。その後、ボランティアさんたちは部屋をもとどおり会議室に戻して終了です。



26年度の実施結果

- 26年度は59日開催。
- 途中でやめる児童は一人もいなかった。

●全く宿題をしなかった子どもが宿題をして両親に褒められ、教員にもほめられ自信をつけた。

●宿題教室の翌日しか宿題を提出できなかった子どもが、家で宿題ができるようになった。

●ボランティアとの関係が良好で、子どもたちも楽しそうに宿題教室に参加した。

●26年度の最後のお別れ会いつものようににぎやかになるとしたら、子どもたちがみんなボランティア先生をみつめて、話をきいてくれた。とびきりの「ありがとうございました！」に涙が出そうになった。



まとめと課題(大切だなと思うこと)

- 「宿題教室」の直接の目的は、宿題を仕上げること。それを地域で取り組むことで、子どもと、お年寄りやボランティアとのふれあいが生まれ、子どもと地域社会、子どもと地域の大人が出会い、つながる場になっている。
- 週に1回1時間のボランティアだから無理なく続けられる。
(中心のコミュニティー協議会の会長・事務局長は毎回でています。)
- 要となるリーダーの存在。学校との連携においてもボランティアの募集に関しても取組の柱となるリーダーの存在が大きい。
- 町内会を通じて、地域全体にボランティアを呼び掛けたことで、役員ではない、地域住民のボランティアが掘り起こせたこと。
- 地域にある大学との連携ができたこと。
- 学校との役割分担と連携がカギ。
児童の募集は学校の役割、宿題教室の運営は地域。
日常的なつながりと話し合い、情報共有が大切。
学校にとってのパートナーになれているかな。
- 宿題をしているところを見守り、子どもたちが困っていたり、「教えて！」と言われたら少しだけ手助けをすること。
- ボランティアは、今までつながりのなかった子どもたちと、顔のみえるふれあいができて喜んでいます。最高齢は84歳。とても元気に参加されています。
若いボランティアの確保も課題ではありますが。



「宿題」は学校や家庭の問題と考えたら、宿題教室は生まれなかった。

親が、宿題や勉強を見てあげられない様々な家庭の事情について、少しだけ理解をする。

「家に帰った時に『おかえり』と言ってくれる人がいない子どもがいる。だからここで『おかえり』と言ってあげたい」

「宿題をみてくれる人がいなくて、宿題ができずに学校に行くのがつらくなる子どもがいる。ならば一緒に宿題をしようと言ってあげたい」

「家庭の事情」そのものを解決してあげることではできなくても、理解をすることはできる。

そして、どんな「事情」があっても、地域の子どもたちを地域で少しだけ支えてあげることができると考えた。

子どもがよくなれば地域がよくなる。地域がよくなれば子どももよくなる。子どもの課題は地域の課題だから。

そして、子どもの体のことや、「ご飯を食べられていない子どものことなど、いろいろな課題もまた少しづつみえはじめています。



Funny Bears

宿題教室でお世話した方々へ。
 今年度一年間お世話にいらしたご両親、
 一年生の時の申し込みとご待ちにおおき。
 今年度、大変有難く通わせて頂きました。
 一人で帰宅し、留守番し続けたい日は、
 教室で見て頂く事にさせて頂き、
 仕事の帰ると「今日、宿題教室で宿題
 全部やったよ」ととてもうれしく報告が
 くれました。
 大変だと、宿題を早く済ませ本を読んだり
 ドールが用意して頂いてありがとうございます...
 思ってもいないような環境を親子共々とても
 喜んでおります。
 今年度一年間見て頂くおかげで
 来年度は「一人留守番も大丈夫！宿題は
 おおきな帰る時間と(高学年の時)と
 宿題ある時にも身にかかるお返し。



Funny Bears

一年間 本当にお世話にありがとうございました。
 毎日来て下さる方も、そういえばいると聞いたり、
 沢山の方々へお礼を、お返しにさせて頂いて、
 感謝の気持ちを伝えたいと思います。
 本当にありがとうございました。